

第22期 東部海区海面漁業調整委員会 委員候補者の推薦・応募状況（募集期間：令和2年10月23日から令和2年11月24日まで） 最終報告
 募集人数15人に対して合計20名（推薦18名、応募2名） 内漁業者等18名（推薦18名、応募0名）

| 受付番号 | 氏名 | 年齢 | 性別 | 区分 | 主な経歴 | 漁業者等該当 | 推薦した団体等 | | | | 備考 |
|------|-------|----|----|----|---|--------|-------------------------------------|-------------------------------|--|--|----|
| | | | | | | | 漁業の状況 | 団体の名称及び代表者氏名（氏名、性別） | 設立の目的（職業、年齢） | 推薦の理由 | |
| 01 | 東田 義廣 | 88 | 男 | 漁業 | S60.2～ 白糠漁業協同組合・理事 S63.8～ 青森県東部海区漁業調整委員会・委員 H10.4～H12.3 太平洋北ブロック漁業者会・委員 | 該当 | さけ小型定置 いか釣り 刺し網 年間従事 200 日 | 白糠漁業協同組合 代表理事組合長 西山 里一 | 組合員が共同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。 | 50年以上さけ小型定置に従事して現場に精通している。 さけ小型定置漁業、いか一本釣り漁業を主に行い、漁業研究について熱心にとりくみ安定した生産を上げている。 当組合の理事を務めており、調整能力に優れている。 東部海区漁業調整委員会の委員経験者である。 | |
| 02 | 木村 慶造 | 83 | 男 | 漁業 | H23.3～ 百石漁業協同組合・代表理事組合長 H24.8～ 青持県東部海区漁業調整委員会・委員 H28.7～ 青森県漁業共済組合代表・監事 | 該当 | 小型定置 ほつき貝桁網 年間従事 100 日 | 百石町漁業協同組合 代表理事組合長 木村 慶造 | 水産資源の管理及び水産動植物の増殖 水産に関する経営及び技術の向上に関する指導 組合員の経済的地位の改善のための団体協約の締結。 | 小型定置網の経営をし、組織の改革を図り、旧小型定置網漁業の操業体制や、漁具の改良・改善に努め、人件費の削減、後継者育成に取り組み、若手の漁業者を加入させ、漁獲金額の増より漁家経営の安定に努めた。 責任感が強く、実行力と的確な判断力には定評がある。確かな先見性と指導力を有する良き指導者として長年にわたり漁業振興に労力を惜しまず人望が厚い。 | |
| 03 | 荒谷 正壽 | 66 | 男 | 漁業 | H18.3～H24.3 階上漁業協同組合・理事 H24.3 階上漁業協同組合・代表理事組合長 H28.8～ 青持県東部海区漁業調整委員会・委員 (その他役職：R2.11 現在) 公社・青森県栽培漁業振興協会・理事 一社・青森県漁港漁場協会・理事 公財・むつ小川原漁業操業安全協会・評議員 公財・海上保安協会八戸支部・監事 青森県信用漁業協同組合連合会・監事 | 該当 | 採介藻 年間従事 90 日 | 階上漁業協同組合 代表理事組合長 荒谷 正壽 | 組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。 | 40年以上採介藻漁業に従事しており、現場に精通している。 当漁業協同組合の地区部会長、理事を経て、現在は代表理事組合長であり、調整能力に優れている。 東部海区漁業調整委員会の委員の経験者である。 | |
| 04 | 南谷 雅人 | 62 | 男 | 漁業 | H2.3～ 青年漁業士、指導漁業士 H12～H14 青森県百人委員会委員 H15.3～ | 該当 | 一本釣り 採介藻 年間従事 250 日 | 尻屋漁業協同組合 代表理事組合長 南谷 雅人 | 組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めるための団体。 | 令和2年、一本釣り、採介藻漁業に従事しており、一本釣り技術の改良に熱心に取り組んでいる。 東部海域漁業協議会会長であり、調整能力に優れている。 東部海区漁業調整委員会委員の経験者である。 | |

| | | | | | | | | | | |
|----|-------|----|---|---|----|----------------------------|-------------------------------|--|--|--|
| | | | | 尻屋漁業協同組合・監事、理事。副組合長 H29.6～ 青森県漁業協同組合連合会・副会長 H29～ 青森県東部海区漁業調整委員会・委員 (その他役職：R2.11現在) 下北漁業振興会・副会長 青森県東部海域漁業協議会・会長 青森県小型いか釣り漁業協議会・監事 青森県漁業監視団・副団長 | | | | | | |
| 05 | 竹林 雅史 | 57 | 男 | 漁業 H1.3～ 青年漁業士、指導漁業士 H6.5～ 猿ヶ森漁業協同組合・理事 H14.7～ 猿ヶ森漁業協同組合・代表理事組合長 H18.7～H29.4 青森県漁船保険組合・監事 H24.7～ 青森県漁船保険組合・代表監事 H24.9～ 青森県東部海区漁業調整委員会・委員 H29.4～ 日本漁船保険組合・総代 (その他役職：R2.11現在) 一社・東通り村産業振興公社・理事 下北水産振興会・監事 東通地区沿岸漁場整備開発推進協議会・副会長 | 該当 | 小型定置網 底建網 年間従事 190 日 | 猿ヶ森漁業協同組合 代表理事組合長 竹林 雅史 | 水産業協同組合法に基づき、組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを行う団体。 | 32 年間、定置網、底建網漁業に従事し、現場に精通している。 クロマグロ混獲を回避、資源管理を実施、水揚げした魚の活メ等を行いブランド化への取り組みによる単価向上を目指している。 平成 24 年から青森県東部海区漁業調整委員会の委員の経験者である。 | |
| 06 | 上野 徳光 | 68 | 男 | 漁業 H6.6～H8.6 泊漁業協同組合・監事 H8.6～ 泊漁業協同組合・理事 H8.8～ 青森県東部海区漁業調整委員会・委員 H28.8～ 青森県東部海区漁業調整委員会・会長代理 R2.6～ | 該当 | 一本釣り 年間従事 200 日 | 泊漁業協同組合 代表理事組合長 松下誠四郎 | 水産業協同組合法に基づき、組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。 | 25 年間定置網漁業、その後 24 年間一本釣り漁業に従事しており、現場に精通している。 本組合の役員を 26 年間務めており、その間、漁業者と中立的な立場で積極的に対話することにより問題解決を図る等調整能力に優れている。 平成 8 年 8 月から東部海区漁業調整委員であり、平成 28 年 8 月からは会長代理の職務を務めている。 | |

| | | | | | | | | | | | |
|----|-------|----|---|----|--|----|-------------------------------------|------------------------------|--|---|--|
| | | | | | 泊漁業協同組合・副組合長 | | | | | | |
| 07 | 松本 光明 | 72 | 男 | 漁業 | H8.8～ 青森県東部海区漁業調整委員会・委員 H16.8～H20.8 青森県東部海区漁業調整委員会・副会長 H21.10～H25.9 太平洋広域漁業調整委員会・委員 H28.8～ 青森県東部海区漁業調整委員会・会長 R2.6～ 泊漁業協同組合・理事 (その他役職：R2.11 現在) 六ヶ所村村議会議員 | 該当 | いか釣り 小女子漁業 一本釣り 年間従事 300 日 | 泊漁業協同組合 代表理事組合長 松下誠四郎 | 水産業協同組合法に基づき、 組合員が協同して経済活動 を行い、漁業の生産能率を上 げ、もって組合員の経済的社 会的地位を高めることを目 的とする。 | 中学卒業後現在まで 57 年間イカ釣り漁業に従事し、 青森県東部及び西部海域において操業しており現 場に精通している。 村議会議員を現在まで 21 年間勤め、泊漁業下部組 織会長等も歴任し、漁業者からの信頼も厚く調整能 力に優れている。 現在東部海区漁業調整委員会会長である。 | |
| 08 | 松下誠四郎 | 74 | 男 | 漁業 | H14.6～H29.6 泊漁業協同組合・理事 H20.8～ 青森県東部海区漁業調整委員会・委員 H29.6～ 泊漁業協同組合・代表理事組合長 H29.6～R2.10 青森県漁業協同組合連合会・理事 R2.10～ 青森県漁業協同組合連合会・代表理事會 長 (その他役職：R2.11 現在) 青森県原子力施設環境放射線等監視評 価会議・委員 公財・むつ小川原漁業操業安全協会・常 務理事 一社・六ヶ所村環境協会・理事 | 該当 | 底はえ縄 年間従事 250 日 | 泊漁業協同組合 代表理事組合長 松下誠四郎 | 水産業協同組合法に基づき、 組合員が協同して経済活動 を行い、漁業の生産能率を上 げ、もって組合員の経済的社 会的地位を高めることを目 的とする。 | 昭和 37 年に漁業に従事依頼、イカ釣り漁業、刺網漁 業、延縄漁業等多くの漁業種類に従事し、東部海区 海域の漁業現場に精通している。 平成 29 年 6 月から泊漁業協同組合長を勤め、令和 2 年 10 月からは青森県漁連代表理事会長として、青 森県漁業を公平な立場から振興する職務を担って おり、委員として適任である。 平成 20 年 8 月からは東部海区漁業調整委員を務め ている。 | |
| 09 | 宮野 昭一 | 69 | 男 | 漁業 | H15.4～ 大間町議会議員 H20.6～H26.6 大間町農業委員会 H22.10～ 奥戸漁業協同組合・代表理事組合長 | 該当 | 採介藻 一本釣り 漁業従事 150 日 | 奥戸漁業協同組合 代表理事組合長 宮野 昭一 | 水産業協同組合法に基づく 事業の実施 | 長年にわたり、漁業指導者として地元漁師を牽引 し、又漁師の金融の支えである信用漁業連合会の理 事を兼任するなど、各方面から漁業に対する視野を もっている方だと認知しております。 その知識を大いに活用され、町議としても数々の浜 の声を行政に訴えて頂いております。 | |

| | | | | | | | | | | | |
|----|-------|----|---|----|--|----|--------------------|--------------------------------|---|---|--|
| | | | | | H27.6～ 青森県信用漁業協同組合連合会・理事 (その他役職：R2.11 現在) 北通商工事業協同組合・理事 | | | | | 漁港の整備から特産品の公安、漁業者の生活支援を踏まえた事業の取組など、漁業者に寄り添う姿勢に感服します。 | |
| 10 | 葛西 恭子 | 75 | 女 | 中立 | H2.5～ 下風呂漁業協同組合・女性部長 H12～ むつ、下北保護司 H20～ 青森県東部海区漁業調整委員会 H30～ 県漁協女性組織協議会・会長 R1～ 全国漁協女性組織協議会・監事 | — | — | — | — | 漁業に従事する夫を助け陸の仕事をしています。県や全国の会議等に出席し、女性の意見をのべ又聞いて仲間に話し、女性の地位向上につとめています。特に海区の仕事は、男性社会のため次につづく女性の少しでも助けになればと思っています。 | |
| 11 | 二本柳 勝 | 70 | 男 | 漁業 | H2～ 青年漁業士、指導漁業士 H8.2～ 小田野沢漁業協同組合理事 H12.8～ 青森県東部海区漁業調整委員会・委員 H17.3～ 小田野沢漁業協同組合・副組合長 H20.3～H23.3 小田野沢漁業協同組合・組合長 | 該当 | 小型定置 年間従事 180 日 | 小田野沢漁業協同組合 代表理事組合長 川村 敏博 | 水産業協同組合法に基づき、水産の事業を行うための団体。 | 小型定置漁業に 45 年間、現在は経営者として従事している。資源管理に取り組む他、サケ海産親魚を提供してふ化放流事業に協力するなど、現場に精通している。青森県漁業士会の指導漁業士として、後進の育成指導をしている。小田野沢漁業協同組合の理事として 24 年余り、また、代表理事組合長の経験者でもあり、エネルギーと漁業の共存を前提に、東通原子力発電所立地に協力しながら、地元漁業振興のために尽力している。青森県東部海区漁業調整委員会の委員として 20 年あまりの長きにわたり、東部海区管内における沿岸資源の漁業調整や資源管理と増殖、特に種卵確保のための海産サケ親魚の提供やサクラマス幼魚の放流等、サケ・マス増殖事業に貢献している。 | |
| 12 | 左京 忠史 | 71 | 男 | 漁業 | H24.3～H30.3 階上漁業協同組合・副組合長 H28.8～ 青森県東部海区漁業調整委員会・委員 H30.3～ 階上漁業協同組合・理事 (その他役職：R2.11 現在) 階上町観光協会・会長 階上町商工会・会長 社福・階上町社会福祉協議会 評議員 八戸水産高校講演会・理事 | 該当 | 採介藻 年間従事 90 日 | 階上漁業協同組合 代表理事組合長 荒谷 正壽 | 組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産効率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。 | 40 年以上、採介藻に従事しており、現場に精通している。階上漁業協同組合の理事であり、調整能力に優れている。東部海区漁業調整委員会の委員経験者である。 | |

| | | | | | | | | | | |
|----|-------|----|---|----|--|----|--|---------------------------------|---|---|
| 13 | 中居 裕 | 72 | 男 | 学識 | S58.8～S62.9 北海道大学・助手 S62.10～H4.3 水産大学校・講師、助教授 H4.4～H8.12 下関市立大学・教授 H9.1～H24.3 東京水産大学（東京海洋大学）・教授 H24.4～ 東京海洋大学・名誉教授 H24.4～H30.3 八戸学院大学・教授 H26.7～ 青森県東部海区漁業調整委員会・委員 H30.4～ 八戸学院大学・講師（非常勤） | — | — | — | — | 水産経済に関わる研究調査に長年携わってきた。そのなかで、得てきた知見や知識を地域の漁業において何らかの形で還元すべきだと考えている。なかでも当該海区の漁業は、厳しい環境の下で見通せない情勢にあり、そのなかでこれまでの経験を何らか貢献できるのではないかと考えた次第である。 |
| 14 | 坂 三男 | 73 | 男 | 漁業 | H30.4～ 大間漁業協同組合・代表理事組合長 | 該当 | いか釣り 一本釣り（まぐろ） まぐろ延縄 年間従事 100 日 | 佐井村漁業協同組合 代表理事組合長 坂井 幸人 | 組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産効率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。 | 16 才より約 57 年間漁業に従事し現場に精通している。 いか・まぐろ一本釣り漁業を主に行い、一本釣り技術の向上と漁具の改良に取り組み、安定した漁獲確保に努め、若手漁業者の指導にも取り組んでいる。 大間漁業協同組合の組合長として、指導力・調整能力に優れ漁業振興に努めている。 青森県下北北通り地域広域再生委員会会長として、広域浜プランの実施に取り組み、下北北通り地区の漁民の信頼も厚い。 |
| 15 | 田高 利美 | 59 | 男 | 漁業 | H14.3～ 大畑町漁業協同組合・理事 H16.3～ 大畑町漁業協同組合・代表理事組合長 H16.8～ 青森県海区漁業調整委員会・委員 | 該当 | いか釣り 年間従事 270 日 | 大畑町漁業協同組合 代表理事組合長 田高 利美 | 組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産効率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。 | 20 年以上、中型いか釣り漁業を経営し、沖合漁業と沿岸漁業の両方の立場で、考えることができる。 東部海区漁業調整委員経験者である。 |
| 16 | 尾崎 幸弘 | 57 | 男 | 漁業 | H15.1～H24.6 八戸みなと漁業協同組合・監事 H20.6～H24.7 八戸沖沿岸漁業振興協議会・理事 H24.6～ 八戸沖沿岸漁業振興協議会・副組合長理事 H24.7～ 八戸沖沿岸漁業振興協議会・副会長 | 該当 | 定置 ほっき貝桁網 年間従事 250 日 | 八戸みなと漁業協同組合 代表理事組合長 岡沼 明見 | 組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産効率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。 | 37 年間、沿岸漁業に従事しており、現場に精通している。 漁業士会の役員として年齢問わず沿岸漁業者からの人望が厚い。 八戸沖沿岸漁業振興協議会の役員として旋網・トロールとの漁業調整等に尽力。 H21 年 9 月から初めて小型定置に取り組み、研究熱心と向上心から 9 年目に新船を建造、安定した水揚げを上げている。 |
| 17 | 坂岡 正彦 | 61 | 男 | 漁業 | H11.4～ | 該当 | ほっき貝桁網 | 三沢市漁業協同組合 | 組合員が協同して経済活動 | 当組合の正組合員として 27 年間、いか釣り漁業等 |

| | | | | | | | | | |
|----|-------|----|----|--|----|---|------------------------------|---|---|
| | | | | 八戸立縄協議会・会議 H12.4～H27.3 三沢漁業無線士会 H15.4～ 指導漁業士 H24.4～ 青森県青年連絡協議会・会長 H30.6～ 三沢市漁業協同組合・理事 H30.7～ 八戸沖沿岸漁業振興協議会・理事 R2.4～ 三八漁業士会・会長 | | いか釣り はも漁業 たこ漁業 年間従事 154 日 | 代表理事組合長 門上 馨 | を行い、漁業の生産効率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高める。 | を営み、その間、三沢漁業無線士会会長、当組合の小型船部会会長及び組合理事を務めるなど人望も厚く、識見も有している。また、当地区以外でも、八戸立縄協議会会長や三八漁業士会会長、青森県青年連絡協議会、八戸沖沿岸振興協議会理事などの養殖も務め、周りの信頼も厚い。 |
| 18 | 尾崎 勝一 | 70 | 男 | 漁業 H15.5～H21.4 青森県漁業協同組合連合会魚普及会委員 H23.7～H30.5 三沢市漁業協同組合・監事 H30.6～ 三沢市漁業協同組合・理事 R1.11～ 三沢市漁業協同組合・副組合長 | 該当 | ほっき貝桁網 一本釣り かご はも漁業、 たこ漁業 年間従事 139 日 | 三沢市漁業協同組合 代表理事組合長 門上 馨 | 組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産効率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高める。 | 平成 15 年以降、17 年間にわたり、一本釣りをはじめとした漁業に従事する中、熱心に漁場環境の調査、研究にも力を注いでいる。 県漁連の魚普及会委員を務めたほか、会社での管理職としての経験を活かし、当組合では監事、理事として、また現在は、副組合長として長期的な展望を持って運営にあたり、調整能力も大いに発揮している。 |
| 19 | 富田 由廣 | 男 | 71 | 漁業 H6.8～H15.5、H21.6～ 三沢市漁業協同組合・理事 H12.8～ 青森県東部海区漁業調整委員会・委員 H23.12～H28.8 青森県東部海区漁業調整委員会・会長 | 該当 | 一本釣り ほっき貝桁網 かれい刺網 かに刺網 年間従事 126 日 | 三沢市漁業協同組合 代表理事組合長 門上 馨 | 組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産効率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高める。 | 当組合員として 25 年間にわたり、三沢市沿岸で一本釣りをはじめとした漁業を行い、その間当組合理事として、延べ 20 年間、その経営に携わっている。また、平成 12 年から現在まで東部海区沿岸漁業調整委員会委員を勤め、4 年余り会長も務めていた。その調整能力及び識見は非常に優れている。 |
| 20 | 蛭名 勉 | 男 | 47 | 漁業 H24.1～ 三沢いか釣り船団・団長 H30.1～ 青森県東部連合小型いか釣り協議会・副会長 | 該当 | ほっき貝桁網 いか釣り 年間従事 134 日 | 三沢市漁業協同組合 代表理事組合長 門上 馨 | 組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産効率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高める。 | 平成 21 年以降、当組合の正組合員として、いか釣りを中心に漁業を行っており、特に、いか釣りに関しては、優れた技量を有し、当組合において、常にトップクラスの漁獲量、漁獲高を誇っている。また、青森県東部連合小型いか釣り協議会副会長や三沢いか釣り船団の代表も務め、対外的な課題に対しても、常に先頭に立ち、その解決に努めており、人望も厚い。 |